

部局名	総務企画部	所属名	広報広聴課	所属長名	小名木 伸雄	電 話	483-1151 内線2510
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3029		事務事業名称	広報発行事業					短縮コード	経常	3029	臨時	3030
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	03	広報費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市行政組織規則第 6 条別表第 2、八千代市広報発行規定							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
均一的な町（市）政情報を一律に伝えるため、昭和33年8月より発行													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
新聞購読率の低下と広報紙が届いていないと思われる世帯の増加。ホームページによる市政情報の入手者の増加。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進						
					小項目（施策）	01	透明性の高い市政の推進						
					細 項 目	03	広報活動の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： タブロイド版 8ページ23回、10ページ1回。 4ページカラー12回							
	※平成19年度に計画していること： タブロイド版 8ページ23回、10ページ1回。 4ページカラー12回							
意図 （何を狙っているのか）	市政情報の提供や市民の活動の紹介							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	人口	人	184,979	187,495	186,650	189,000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	年間発行の総ページ数	ページ	200	196	194	194	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	広報紙から得られる情報に満足している市民の割合。それに通		465	480	456	240	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1	透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合	%			12.1		
	指標 2							
	指標 3							

コード		3029		事務事業名称		広報発行事業		所属名		広報広聴課	
				単位	1 7 年度	1 8 年度			1 9 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0				
		県	千円	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0				
		一般財源	千円	28, 828	31, 645	27, 648	30, 423				
		その他	千円	0	0	0	0				
	主な事業費の内訳			広報やちよ印刷製本費	印刷製本費，委託料	印刷製本費13, 336千円 委託料12, 260千円	印刷製本費15, 183千円 委託料 13, 864				
	人件費 (B)			千円	56, 998. 3	54, 568. 2	40, 915. 2	0			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	85, 826. 3	86, 213. 2	68, 563. 2	30, 423				

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		積極的な市政情報の提供により透明性の高い市政の推進を図っているため					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		市政情報は継続して提供していかなくては透明性が担保されないため、今後も続けていく必要がある					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		現在広報やちよの印刷と新聞折込配布は委託で行なっている。広報による市政の情報提供については、実施主体である市が責任を持って行うべきものであり、掲載する範囲や内容の検討を要するため、編集を委託したり臨時職員で対応することはできない。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		広く市民全般に係る情報を提供するため必要があるため						
		☐ 見直す必要がある								
		☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある							
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☐ 両方可能性はある							
			☐ 可能性がない							
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		見やすい紙面，親しまれる広報を発行するため，カラーページを増やす。				
				☐ 臨時的任用職員等の活用						
				☐ I T 化等業務プロセスの見直し						
				☐ 受益者負担の見直し						
				☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
				☒ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		カラーページを増やすことで経費（印刷製本費）が増額する。					
			☐ ない							

コード	3029	事務事業名称	広報発行事業				所属名	広報広聴課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			現状の年間12回・各4ページのカラー紙面を年間24回・各4ページにすることによりより見やすく正確な紙面づくりを目指す			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			カラー化により印刷製本費が増加するが、見易さ、正確さは向上する	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
広報モニターから、情報量が多く、読みやすい紙面づくりと表紙などのカラー化を求められている	

所属長コメント	広報紙は、行政と市民をつなぐ重要な情報伝達ツールである。カラー化などわかりやすく親しまれる紙面づくりを行い、今後も月2回発行していきたい。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	費用対効果を検証し、推進すべき。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☐ 現状のまま継続	